

【美浦中学校だより】

屋敷平通信

みほーす



<第7号>

令和6年10月21日

美浦村立美浦中学校

文責：土居

校訓

自治 友愛 勤労

引き続き、制服検討を進めています

制服変更の有無について、第2回委員会では制服メーカーの選定を行いました。その後、委員会の意見を反映したアンケートを、本校全校生徒・保護者、村内小学校4年～6年全児童とその保護者にアンケートを行いました。これらアンケート結果を受けて、第3回検討委員会では、制服のサンプルの条件について検討しました。具体的には、①夏服と冬服を分けるのか、通年のものにするのか、②デザインについて、

③ネクタイやリボンについて、アンケート結果、つまり生徒・児童および保護者の皆様の意見を反映させたものになるように、検討しました。11月の第4回検討委員会では、生徒・児童・保護者の皆様に提示するサンプルを決めていく予定です。



第2回検討委員会
制服メーカー選定の様子



第3回検討委員会
サンプル検討の様子

さわやかな秋晴れの中、第63回体育祭が行われました

10月12日(土)、秋晴れのもと、第63回体育祭が行われました。本年度は、熱中症対策のため、開催時期を10月に変更しての開催となりました。開会式では、実行委員長の[]さんから「皆でこの体育祭を楽しみましょう。そのために一人一人の本気を見せてください。」と皆の気合いを確認、全校が盛り上がりスタートしました。そして、スローガン『Tell the best story ～自分たちで創り上げる体育祭～』のもと、各団、各学年ごとに、限られた時間の中で試行錯誤しながら練習を積み重ねました。当日は、応援合戦はじめ、どの種目においても、生徒の大変素晴らしい姿がありました。また、競技に取り組む姿だけでなく、各係の仕事に取り組む姿も、皆いきいきとしていました。

体育祭での各団長の振り返りは以下の通り。自治団団長の[]さんは「前年に比べて短い練習期間でしたが、全員を引っ張ることができたと思います。自治団全員で頑張った完全優勝だと思います。自治団の皆さん、そして体育祭を支えてくださった方々に感謝しかありません。」、また、勤労団団長の[]さんは「最後までやり切り、一緒に泣き、悔いなく感動できる応援ができたのは、勤労団の皆さんのおかげです。どの団にとっても、素晴らしい体育祭となったと思います。」、そして友愛団団長の[]さんは「短い期間でしたが、団長としてしっかり役割を果たすことができました。応援を通して、何よりも団の仲間との絆を深める事ができたのがうれしかったです。全ての出会いに感謝しています。」

各団長の振り返りにあるように、体育祭を通して生徒は一回りも二回りも大きく成長することができました。現在は、3年生は各自の進路選択に向けて、1,2年生は、新人戦やコンクールなど、各自の次の目標に向けて取り組み始めています。

当日は、事前のPTA本部役員会での打ち合わせを経て、多くの保護者の方々や卒業生に駐車場・保護者参観場所・後片付け等でご協力をいただきました。おかげさまで、皆さまに見守られながら、体育祭を無事行うことができました。ありがとうございました。



開会式の様子



〈自治団〉 応援合戦



〈勤労団〉 応援合戦



〈友愛団〉 応援合戦